発行：彦根市
編集：情報政策課
●1日・15日発行

▼「広報ひこね」は大豆油インキを包含した植物油インキを使用しています。
▼廃棄する場合には古紙回収に出してください。
▼この「広報ひこね」は49,500部作成し、1部当たりの単価は10円（1円未満切り捨て）です。ただし、原稿作成・編集などにかかる職員の人件費は含まれていません。
VEGETABLE OIL INK

話題のひろば

おにぎりパーティーが楽しみ 児童が稲刈り体験

10月2日、河瀬小学校（極楽寺町）近くの田んぼで稲刈り体験が行われ、5年生85人が収穫に汗を流しました。

児童は、地域ボランティアの皆さんに指導を受け、鎌を使って金色に染まった稲穂を刈ったり、昔使われていた農耕具を使った脱穀を体験したりしました。

今後、児童はとれたお米で、お世話になった人たちと一緒におにぎりパーティーを開催する予定とのことです。

体を動かして、健康に 元気フェスタ2012

10月8日、県立彦根総合運動場（松原町）とその周辺で、「元気フェスタ2012」が行われました。

市民の皆さんが体を動かすことや生活習慣を見直すきっかけになることを目的に、毎年開催しています。

市民体育センターでは、「ひこね元気計画21実行委員会」による「味覚（塩味）チェック」も行われ、参加者がふだんの食事を見直す機会となりました。

「想像していた以上の迫力」 オーケストラの演奏を体感

10月9日、金城小学校（大藪町）の体育館で、「オーケストラ・アンサンブル金沢」のメンバー4人によるコンサートが行われました。児童がクラシック音楽の生演奏に触れる機会を作ることを目的に、金城小のほかにも市内の3つの小学校で演奏をされました。

児童は「目の前で聞いて、想像していた以上の迫力でした」との感想を話していました。

表紙の写真

元気な声で交流 おはよう活動

10月1日から5日まで、城北小学校（松原町）で、城北小学校の児童と近江高校の生徒による「おはよう活動」が行われました。

この運動は、笑顔であいさつをすることで、児童同士や、児童と生徒、地域の人との心の交流につなげようと、城北小の児童会と近江高校の生徒会などが中心となって、年3回行われています。

空気が澄んださわやかな朝の校門前では、児童と生徒の「おはようございます」の元気な声が響いていました。

人口と世帯数

平成24年10月1日現在

人口	112,632人（+44）
男	55,664人（+32）
女	56,968人（+12）
世帯数	44,541世帯（+84）

（ ）内は前月との比較